

9 公共建築物

9.1 公共建築物の景観について

公共建築物は、住民生活と大きな関わりを持ち、地域における中心的な場所に位置している場合が多いため、良好な地域景観の形成へ向けて先導的役割を担っている。

● 公共建築物の分類

分類	項目
行政サービス施設	庁舎、病院等
集会施設	文化施設、公民館等
教育施設	学校、研修所等
居住施設	公営住宅、宿舍等
供給処理施設等	廃棄物処理場等

● 公共建築物の景観形成に当たっての配慮点

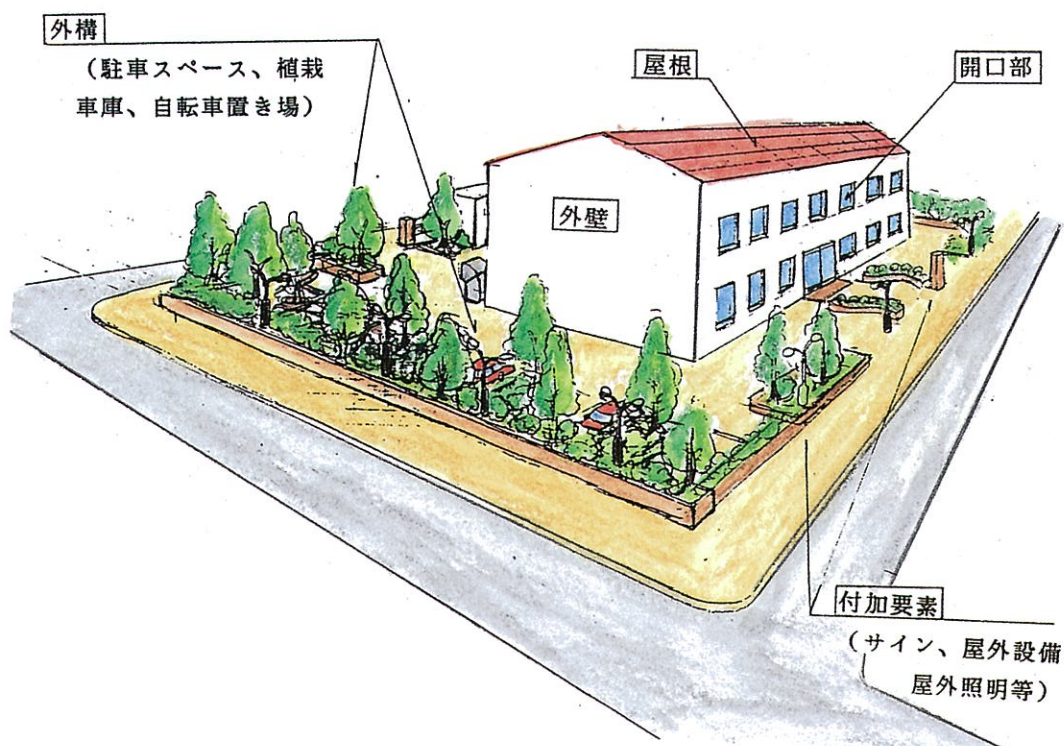
- ・地域性：地域の歴史的文化的環境及び自然環境との結びつきを十分考慮し、周辺環境との調和を図る。
- ・公共性：利用者の利便性を考慮し、外部空間に公共性を持たせる。
- ・快適性：文化的で快適な環境づくりに努めるとともに、その快適性が恒久的となるよう、維持管理の容易さ、使いやすさに配慮する。

公共建築物の景観形成に当たっての配慮点の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・地域性 <ul style="list-style-type: none"> 自然景観との調和 歴史的・地域景観との調和 良好な街区の形成 既存地形の保全 既存樹木の保存活用 ・公共性 <ul style="list-style-type: none"> ゆとりあるオープンスペースの確保 敷地の解放的利用 外部空間の立体的利用 身体障害者等への配慮 分かりやすいサイン計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・快適性 <ul style="list-style-type: none"> 建物と調和のとれた外構設計 緑化面積の確保 高木による効果的な緑化 駐車場の景観的配慮 安全で快適なアプローチ 魅力的な外部空間の演出 芸術性の積極的導入 効果的な照明計画、景観照明 維持管理に対する配慮
---	--

資料：「官公庁施設のうるおいのある外部環境設計指針」建設省

● 公共建築物の景観要素



● 公共建築物の景観検討手順

検討項目	検討内容
敷地選定	土地利用計画との整合性の確保
基本計画	景観特性の分析 <ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の歴史性、文化性等の把握 ・明確な設計理念（コンセプト）の構築 ・主要な景観資源、視点場の確認
基本設計	ゾーニングの決定 <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性の把握と適切な造成計画の立案 ・ゆとりのあるオープンスペースの確保 ・適切な緑化計画の策定 ・施設間相互の調和の確保 規模等の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・威圧感、圧迫感等に対する配慮
実施設計	地域性と場所性を踏まえた形態、意匠、色彩、素材、照明計画等の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・象徴性、芸術性の付加の検討 維持管理に対する配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理が容易な素材、ディテールの検討

景観シミュレーション手法についてはイメージスケッチ、透視図、画像合成、コンピュータグラフィックス、縮尺模型等がある。計画、設計の各段階で、必要に応じて景観の予測・評価をしながら作業を進めるものとする。

9. 2 景観整備の考え方

行政サービス施設、集会施設、学校施設、供給処理施設等の建築物等（以下「公共建築物」という。）は、地域生活と深いかかわりを持ち、多数の人々が訪れ利用する場である。したがって、こうした公共建築物については、ゆとりと潤いの場として親しみのある施設とするとともに、将来の地域の文化的資産となるよう整備に努める必要がある。

■ 整備の考え方

1. 位置、構造、形態、意匠及び色彩については、地域の風土、歴史及び文化の面から配慮し、周辺の景観と調和するよう努めること。
2. 規模の大きい公共建築物は地域のランドマークとなるものであり、地域文化を反映した象徴性の高いものとなるよう配慮し、地域の景観形成に良好な影響を与えるよう努めること。

● 特性・視点

- 公共施設としての役割を認識し、威圧的、排他的なイメージを与えることを避け、文化性、地域性を配慮することにより周辺環境との調和を図る。
- 住民の利用等を考慮し、オープンスペース、緑化空間の確保等により外部空間にゆとりと潤いを持たせる。

9. 3 設計等の配慮事項

■ 位置

1. 計画地の選定に当たって、景観形成上重要な地域の良好な景観を損なうことのないよう、また、主要な展望地からの眺望の妨げにならないよう、特に配慮すること。
2. 計画地が、歴史的建造物等の優れた景観資源に近接する場合は、その保全に配慮した位置とすること。
3. 計画地が、山稜の近傍にある場合は、稜線を乱さないよう、できる限り尾根から低い位置とすること。
4. 敷地内の建築物及び工作物間相互の調和と全体的なまとまりに配慮するとともに、周辺の景観と調和するよう努めること。
5. できる限り道路や隣地境界から余裕を持って後退させた位置とし、ゆとりある空間づくりに努めること。

- 土地利用計画と整合した施設の位置を検討する。
- 景観資源や主要な視点場等についての調査を事前に行ってから位置の検討を行う。
- 外部空間を構成する要素（駐車場、たまり場、緑地等）の適切なゾーニングを行う。



三瓶自然館（大田市）
山の稜線を乱さない位置を選定



プラバホール（松江市）
道路から後退させて、余裕のある空間を創出

形態

1. できる限り違和感を与えず全体的にまとまりのある形態とするとともに、周辺の景観と調和するよう努めること。
2. 建築物の印象を大きく決定付ける屋根の形態は、特に周辺の景観と調和するよう努めるとともに、地域の風土や将来の維持管理等を考慮して決定するよう配慮すること。
3. 公共建築物の用途を勘案し、場合によっては、地域の象徴となるよう工夫すること。

• 適切な屋根形式の選択を行う。



吉兆館（大社町）
形態を工夫し、地域のシンボルとなっている



平田市立図書館（平田市）
地域の伝統的な建築形式（妻入住居）と調和した形態



島根県物産観光館（松江市）
歴史的景観資源の保全に配慮



和鋼博物館（安来市）
鉄をモチーフにした博物館

■ 意匠

1. できる限り、周辺の景観と調和するよう努めること。
2. 規模の大きい建築物については、屋根、壁面、開口部等の意匠を工夫し、圧迫感を除くよう努めること。
3. 単調な大壁面を生じないように配慮すること。また、大壁面となる場合には、陰影効果等について配慮すること。
4. 避難設備、高架水槽等公共建築物本体に付属する部分は、防災、安全性及び機能に支障のない範囲内で、できる限り主要な展望地又は道路から見えない位置に設置するとともに、公共建築物本体と一体化し、又は調和したものとなるよう努めること。やむを得ない場合は、遮へい措置等目立たない工夫を講じるよう努めること。

- ・ 主要な視点場からの見え方に配慮しながらフロントリティー（正面性）を意識した風格のあるデザインとする。
- ・ 外壁面及び開口部のデザインには特に配慮する。



津和野警察署（津和野町）
周辺の景観と調和したデザイン



県立博物館（松江市）
単調となりがちな大壁面の修景に配慮



県民会館（松江市）
堂々とした風格あるデザイン



湖北中学校イメージ（松江市）
柔らかく優しい表情をもつファサード

■ 色彩

1. 周辺の景観との調和に配慮すること。
2. 敷地内の屋外設備、工作物等の色彩は、公共建築物本体及び周辺の景観との調和に努めること。
3. 自然景観が背景の大部分を占める場合は、周辺の色調や公共建築物の規模に留意し、色彩の対比及び調和の効果について配慮すること。

・地域の基調となる色彩環境等の色彩調査をすることが望ましい。



県立女子短大（松江市）
運動公園と調和した色彩



湖東中学校（松江市）
緑豊かな周辺環境と調和した仕上材の色彩



県営幸町団地（松江市）
すっきりとしたモダンな感じの色彩

《参考資料・自然景観地の色彩について》

環境庁「自然景観地における色彩基準に関する研究」においては、別紙の色彩基準表が提案され、国立公園の各地区における色彩統一にかかる指導基準等の策定等に当たっての参考とされている。

色彩基準表 ●（表示はマンセル色票系〔JIS〕による）

屋根の色の範囲			
色彩ブロック名	含まれる色系	色相	明度 彩度
RED	RED, REDDISH BROWN	2.5R~<2.5YR	4.0以下/1.0<~8.0
BROWN	BROWN YELLOWISH BROWN	2.5YR~7.5YR	4.0以下/1.0<~6.0
		7.5YR<~1.0Y	4.0以下/1.0<~4.0
OLIVE	OLIVE, OLIVE GREEN	1.0Y<~5.0GY	4.0以下/1.0<~4.0
NEUTRAL	GRAY,DARK GRAY,BLACK	2.5YR~7.5GY	5.0以下/1.0以下

外壁の色の範囲			
色彩ブロック名	含まれる色系	色相	明度 彩度
BEIGE	BEIGE, BROWN	2.5YR~1.0Y	4.0<~8.5/1.0<~2.0
CREAM	PALE YELLOW GRAYISH YELLOW	1.0Y<10.0Y	6.5~8.5/1.0<~2.0
		7.5R~7.5YR 7.5YR<~1.0Y	2.0~4.0/1.0<~6.0 2.0~4.0/1.0<~4.0
NEUTRAL	WHITE,LIGHT GRAY,GRAY	2.5YR~7.5GY	6.5~8.5/1.0以下

（注）屋根、外壁とも木、石、土砂などの天然素材、人造石、レンガ、無釉瓦、無釉タイル、銅板などの準天然素材の色は、色範囲以外であっても使用を規制しない。
アルミ、ステンレスなどの金属光沢の強い材料は色範囲内でも使用できない。

■ 素材

1. 地域性のある素材の使用に努めること。
2. 耐久性及び維持管理に優れた素材の使用に努めること。

- ・ 地場で産出される素材（木材、瓦、石等）を積極的に活用する。



持田幼稚園（松江市）
木材の柔らかさを生かしている幼稚園



地場産業振興センター（江津市）
地場産の瓦、タイルを外装材に使用



出雲文化伝承館（出雲市）
白壁造りで歴史的な雰囲気を出



出雲ドーム（出雲市）
木材を用いた大建築物で地域のランドマークとなっている

■ 敷地の緑化

1. 周辺の景観との調和や緑陰など潤いの場の創造に努めること。
2. 花きや実のなる樹木などによって四季感の創出に努めること。

- ・ 緑化に当たっては高木、中木、低木のバランスのとれた配置を行い、樹形が建築物の形態と調和するような樹種を選択する。
- ・ 樹姿または樹勢が優れた既存の樹林がある場合は、修景に生かすよう配慮する。
- ・ 緑をいつも良好な状態に保つよう維持管理に努める。



瑞穂小学校（瑞穂町）
メタセコイヤのシンボルツリー



県営青山団地（江津市）
住宅周辺や広場に四季感のある植栽

■ 附属施設

車庫、倉庫、污水处理施設等の附属施設については、敷地内及び周辺の景観と調和するよう努めるとともに、公共建築物本体と調和のとれた位置、形態、意匠、素材及び色彩とするよう努めること。

- 本体と違和感のない素材を検討する。
- 利用対象を考慮した適切な配置計画を検討する。



出雲市菅祥雲団地（出雲市）
自転車置場、ゴミ置場のデザインを工夫



サンドミュージアム（仁摩町）
屋外設備を植栽によって遮蔽

■ 垣、柵、塀、門等

垣、柵、塀、門等については、敷地内及び周辺の景観と調和するよう努めるとともに、建築物本体と調和のとれた位置、形態、意匠、素材及び色彩とし、生け垣等の活用により、潤いの場の創出に努めること。

- 敷地境界は、管理上、支障のない範囲で塀、柵を設けず、植込み等で区切ったり、塀、柵をセットバックしてその前面を植栽で修景するなど工夫し、閉鎖的な印象を与えないようにする。



県立津和野高等学校（津和野町）
津和野の雰囲気に調和した白い土塀



県民会館西側（松江市）
解放的なオープンスペース

■ その他

敷地内においては、できる限り電線類を地中化すること。また、将来の敷地外での電線類の地中化に対応するための措置の確保に努めること。



島根県運転免許センター（松江市）
電線地中化がされている



朝日が丘県営住宅（松江市）
表通りから電柱が見えないよう配慮

■ 工事期間中の留意事項

行為の期間中は、敷地周囲の緑化や工事塀等による修景に工夫するとともに、周辺の道路等からの遮へいに努めること。

- 工事中仮設塀のデザインやフラワーポットの設置等を検討する。



市町村振興センター（松江市）
工事中美装した仮設塀で現場を遮蔽



くにびきメッセ（松江市）